



2025年度（2026年3月期）
第1四半期決算説明会

2025年7月30日





01

エグゼクティブサマリー

※2024年度末より、Tokyo Gas America Ltd.及びその傘下連結子会社において従来の国際財務報告基準（IFRS）にかえて米国会計基準を適用しており、2024年度第1四半期の数値については、当該会計方針の変更を反映した繰及適用後の数値を記載。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.  TOKYO GAS

ROE8%達成に向けた進捗状況			3
	24年度 実績	25年度 見通し	
ROE	4.3%	11.1%	
PL	当期純利益 741億円	1,830億円 北米シェールガス事業における利益・特別利益増 等	
	D/Eレシオ 0.77	0.82	
BS	総資産 38,550億円 有利子負債 13,362億円 自己資本 17,254億円 期央値 17,094億円 非支配株主持分 760億円 <総資産> □ 事業ポートフォリオマネジメント推進 ・投資 3,724億円（内、成長投資 2,638億円） ・資産/事業売却等 353億円 イーグルフォード・不動産・政策保有株の売却 等 <自己資本> □ 資本効率向上を目的とする自己資本コントロール ・基本的還元^{※1} 配当：304億円^{※3}（80円/株） ・追加的還元^{※2} 自己株式取得：1,200億円 ・TGAU解散に伴う為調圧縮：680億円		
	総資産 36,670億円	15,790億円	
CF	営業CF ^{※4} 4,500億円	投資CF（回収分控除後） ▲3,371億円	
	FCF 1,129億円		

^{※1} 基本的還元：株主還元方針に基づき、連結当期純利益に対し4割程度を目安に還元。
^{※2} 追加的還元：資本政策として機動的に実施、下期については利益進捗や市場環境等を踏まえ検討
^{※3} 現時点の見通し値
^{※4} 営業CF：純利益+減価償却費で算定

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

今年度は「ROE 8%の必達」を掲げて取り組んでおりますが、6月の業績予想の修正においてご案内の通り、東京ガスオーストラリアの解散に伴う為替換算調整勘定の取り崩し益を、特別利益として計上しました。これにより、今年度のROEは11.1%を見込んでおります。

1Q実績につきましては、計画に対して概ね順調に進捗していると評価しています。また、セグメント利益の通期見通しにつきましては、現時点で織り込むべき大きな変化要素は無いことから、前回4月の見通しから据え置きとしています。

BSについては、事業PFマネジメントを引き続き推進し、成長投資と非効率資産の売却等を進めることで、総資産は前期末から▲1,880億円減の3兆6,670億円となります。

また、現在進めている自己資本コントロール策である自己株取得の効果により、期末自己資本は1兆5,790億円となり、D/Eレシオは昨年度末の0.77から0.82となる見込みです。

下期以降の自己資本コントロール策を含む株主還元については、今年度の市況・財務状況等の見通しの精度が高まる下期以降に、改めてご説明させていただきたいと考えております。

考え方としては、単年度のROE目標達成のみならず、次期中計期間以降もROEの上昇トレンドを維持することを念頭に、中長期の視点で自己資本コントロールを実行してまいります。

決算ハイライト

4

2025年度1Q実績（対前年度）：エネルギー・ソリューション・海外セグメントの増益、特別利益の計上により、当期純利益は前年同期比829億円の増益。

(億円)

	2025年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	増減	主な増減要因
セグメント利益	617	280	337	
エネルギー・ソリューション	555	253	302	ガス：フレーム影響に伴う単価差等による利益増 等 電力：獲得件数増加による販売量増および一過性費用の剥落等による利益増 等
ネットワーク	14	11	3	託送供給収益増 等
海外	119	40	79	北米シェールガス事業の販売単価上昇による利益増
都市ビジネス	35	38	▲3	休業に伴うホテル事業利益減 等
経常利益	571	257	314	—
特別損益	748	20	728	東京ガスオーストラリア社の解散決議に伴う為替換算調整勘定取崩益の計上による増益 等
親会社株主に帰属する当期純利益	1,017	188	829	—

2025年度見通し（対前年度）：前回（4月公表）見通しからの変更点は特別損益のみ。当期純利益は1,830億円・ROEは11.1%を想定。

(億円)

	25年度見通し	24年度実績	増減	主な増減要因
セグメント利益	1,680	1,386	294	
エネルギー・ソリューション	1,226	1,217	9	ガス：低気温影響による家庭用販売量増に伴う利益増 等 電力：電源固定費減、特高・高圧需要増強しや低圧小売件数増による利益増 等
ネットワーク	5	▲31	36	託送供給収益増 等
海外	671	228	443	北米シェールガス事業の販売単価上昇による利益増 等
都市ビジネス	125	240	▲115	新借バークタワ一改修費用増 等
経常利益	1,470	1,135	335	—
特別損益	1,064	▲73	1,137	今期：（特別利益）為替換算調整勘定取崩益 680、不動産売却益 225、 固定資産売却益、投資有価証券売却益 等 前期：（特別利益）投資有価証券売却益 48、受取損害賠償金 20 （特別損失）投資有価証券評価損▲141
親会社株主に帰属する当期純利益	1,830	741	1,089	ROE 2025年度：11.1%、2024年度：4.3%

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS



02

2025年度 第1四半期決算実績概要

※2024年度末より、Tokyo Gas America Ltd.及びその傘下連結子会社において従来の国際財務報告基準（IFRS）にかえて米国会計基準を適用しており、2024年度第1四半期の数値については、当報告書の方針の変更を反映した額と適用後の数値を記載。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.  TOKYO GAS

2025年度1Q実績（連結）売上高・利益等（2025.4.1－2025.6.30）対前年同期実績					6
	2025年度1Q	2024年度1Q	増減	%	
売上高	6,473	5,868	605	10.3	
営業利益	625	258	367	141.4	
セグメント利益（営業利益＋持分法損益）	617	280	337	120.2	
経常利益	571	257	314	122.3	
特別損益	748	20	728	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,017	188	829	438.7	
気温影響	0	▲ 47	47	—	
タイムラグ影響	189	104	85	—	
都市ガス	113	65	48	—	
LNG販売	27	20	7	—	
電力	49	19	30	—	
年金数理差異償却額	40	25	15	—	
都市ガス販売量（百万m ³ 、45MJ）	2,480	2,428	52	2.1	
電力販売量（百万kWh）	5,932	5,002	930	18.6	

【参考：経済フレーム】			【参考：年金（期待運用収益率：2%）】	
	2025年度1Q	2024年度1Q		2025年度1Q
為替レート	144.60	155.86	運用利回り	0.86%
（¥/\$）	（▲11.26）		※コスト控除後	
原油価格	75.12	87.48	期末資産（億円）	2,330
（\$/bbl）	（▲12.36）			
平均気温	19.7	20.0		
（℃）	（▲0.3）			

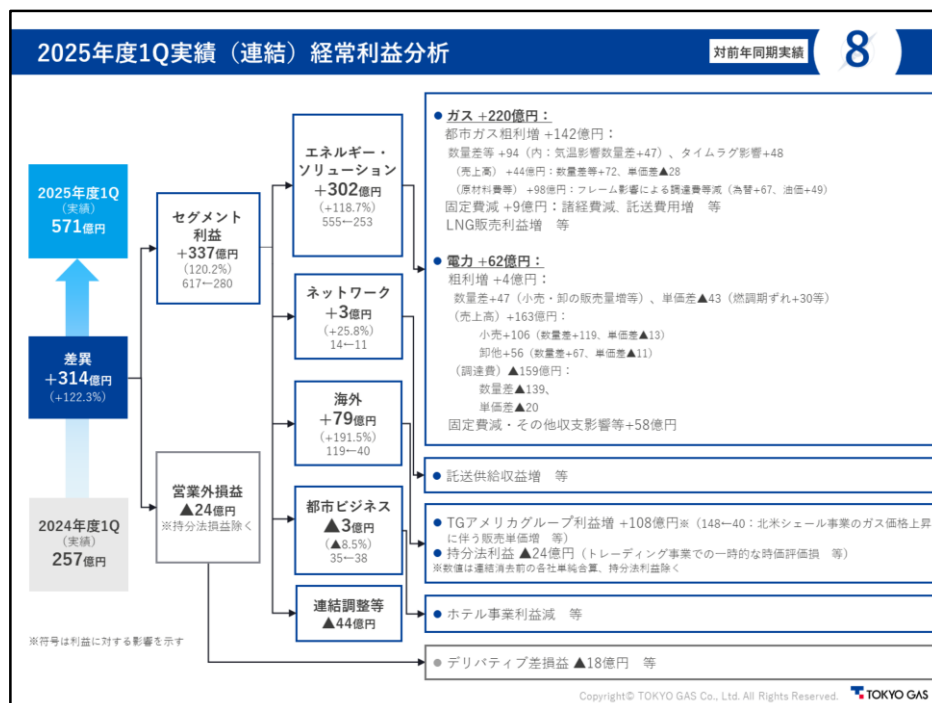
Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

第1四半期の業績は「増収増益」となりました。
 売上高は、＋605億円の増となりました。
 これは、「エネルギー・ソリューションセグメント」における、
 電力の販売数量増や「海外セグメント」における販売単価増等が主な要因
 です。

営業利益は＋367億円増の625億円、経常利益は＋314億円増の
 571億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、東京ガスオーストラリア社
 の解散に伴う特別利益計上が寄与し、＋829億円増加し1,017億円
 となりました。

2025年度1Q実績（連結）セグメント別 売上高・利益					対前年同期実績		7	
(単位: 億円)								
売上高 ※5					セグメント利益（営業利益+持分法損益）			
2025年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	増減	%	2025年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	増減	%	
エネルギー・ソリューション ※1								
(持分法損益含む)								
	5,668	5,203	465	8.9	555	253	302	118.7
ガス ※2	3,639	3,841	▲202	▲5.3	402	182	220	120.6
電力	1,425	1,235	190	15.4	85	23	62	266.5
ネットワーク	801	791	10	1.3	14	11	3	25.8
海外	578	416	162	38.9	119	40	79	191.5
(持分法損益)	—	—	—	—	▲9	15	▲24	—
都市ビジネス（持分法損益含む） ※3								
	145 (152)	153 (162)	▲8 (▲10)	▲5.6 (▲6.5)	35 (40)	38 (45)	▲3 (▲5)	▲8.5 (▲11.2)
不動産販売	— (7)	— (9)	— (▲2)	— (▲22.0)	— (5)	— (7)	— (▲2)	— (▲24.9)
調整額 ※4	▲720	▲696	▲24	—	▲106	▲64	▲42	—
セグメント合計額								
	6,473	5,868	605	10.3	617	280	337	120.2
(持分法損益)	—	—	—	—	▲7	21	▲28	—
※1 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」「電力」「エンジニアリングソリューション」等を含む。								
※2 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」を含む。								
※3 カッコ内は富華外・特別損益に計上の固定資産売却額および損益（不動産）を含めた金額。								
※4 セグメント利益の「調整額」の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用。								
※5 セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含む。								
Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS								

7ページには、セグメント別の売上高、および営業利益に持分法損益を加えたセグメント利益とその増減を記載しております。



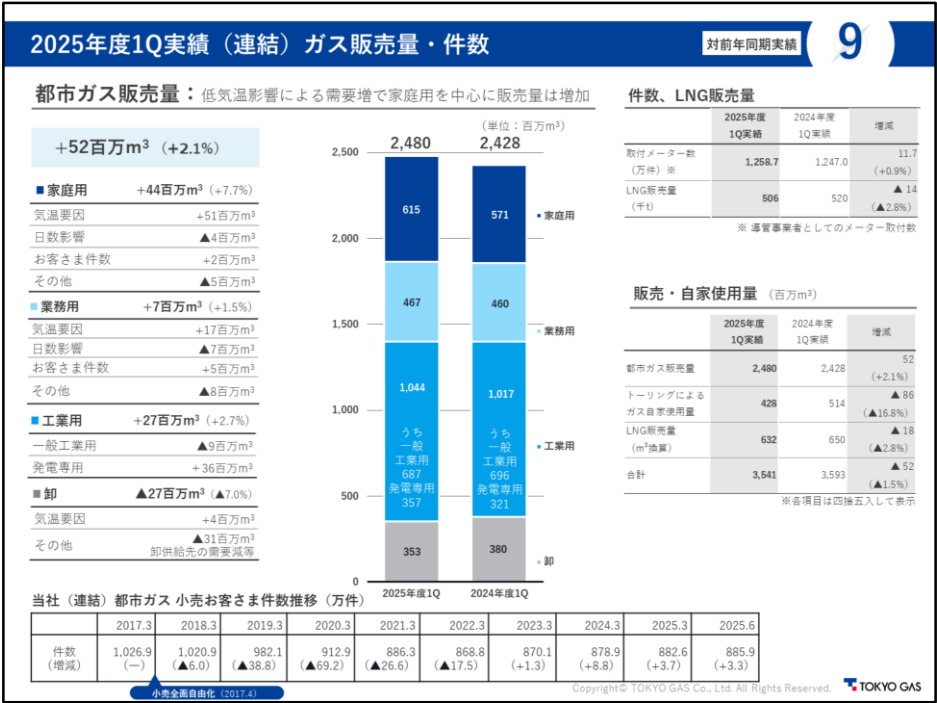
エネルギー・ソリューションセグメントにおける＋302億円の増益は、都市ガスの販売数量増等やタイムラグ影響による粗利増、＋142億円が主な要因です。

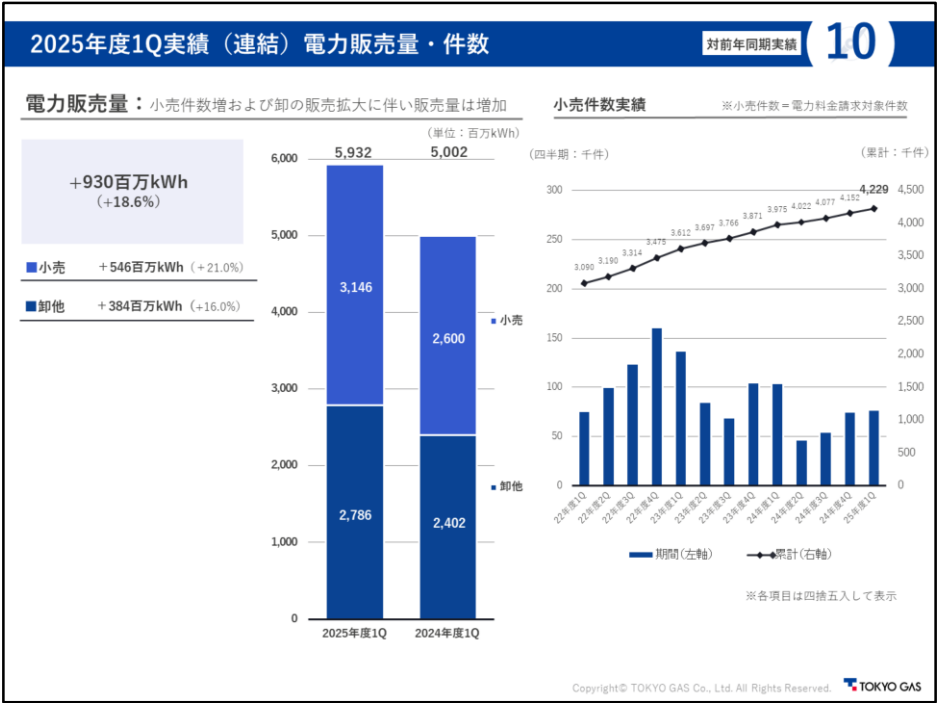
また、電力事業においても、販売量増や昨年度に発生していた一時的な費用増といった利益押し下げ要因が剥落したことなどにより、＋62億円の増益となりました。

ネットワークセグメントは、託送供給収益の増により、＋3億円の増益となりました。

海外セグメントは、北米シェールガス事業において、市場価格が上昇し販売単価が上昇したことで、＋79億円の増益となりました。

都市ビジネスセグメントは、主に、ホテル事業において、昨年度5月からのリノベーションのための休業に伴い、▲3億円の減益となりました。





第1四半期の電力販売量は、全体では+18.6%増となりました。契約件数の増加により小売りは+21.0%の増、卸ほかにおいて、+16.0%増加しました。



03

2025年度通期見通し

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. 

2025年見通し（連結）売上高・利益等（2025.4.1～2026.3.31）					対前回見通し 対前年度実績		12
	見通し	前回（4月公表） 見通し	増減	%	前年度 実績	増減	%
（単位：億円）							
売上高	27,540	27,540	0	0.0	26,368	1,172	4.4
営業利益	1,590	1,590	0	0.0	1,330	260	19.5
セグメント利益（営業利益＋持分法損益）	1,680	1,680	0	0.0	1,386	294	21.2
経常利益	1,470	1,470	0	0.0	1,135	335	29.4
特別損益	1,064	384	680	177.1	▲73	1,137	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,830	1,340	490	36.6	741	1,089	146.6
気温影響	0	0	0	—	▲120	120	—
タイムラグ影響	134	134	0	—	101	33	—
補正項目	都市ガス	88	0	—	73	15	—
	LNG販売	22	0	—	8	14	—
	電力	24	0	—	20	4	—
	年金数理差異償却額	161	0	—	103	58	—
都市ガス販売量（百万m ³ 、45MJ）	11,024	11,024	0	0.0	11,215	▲191	▲1.7
電力販売量（百万kWh）	27,582	27,582	0	0.0	23,440	4,142	17.7

【参考：経済フレーム】			
	見通し	前回（4月公表） 見通し	前年度 実績
為替レート （¥/\$）	150.00 （±0.00）	150.00	152.62
原油価格 （\$/bbl）	75.00 （±0.00）	75.00	82.41
平均気温 （℃）	16.5 （±0.0）	16.5	17.6

【参考：年金（期待運用収益率：2%）】			
	2024年度	2023年度	2022年度
運用利回り	0.01%	2.21%	▲1.90%
※コスト控除後			
割引率	年金分 1.938%	1.151%	0.809%
	一時金分 1.349%	0.634%	0.373%
期末資産（億円）	2,330	2,400	2,430

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

2025年度通期につきましては、冒頭のご説明通り、東京ガスオーストラリア社の解散による為替換算調整取り崩し益680億円を反映し、親会社株主に帰属する当期純利益は490億円増の1,830億円と見通しております。セグメント利益、都市ガス・電力の販売量、見通しの前提となる7月以降の経済フレームについては、前回4月に開示した見通しのまま据え置いております。

2025年度見通し（連結）セグメント別利益（営業利益＋持分法損益）

対前回見通し
対前年度実績

13

(単位: 億円)

対前回（4月公表）	売上高 ※5				セグメント利益<営業利益＋持分法損益>			
	見通し	前回（4月公表） 見通し	増減	%	見通し	前回（4月公表） 見通し	増減	%
エネルギー・ソリューション ※1								
持分法損益含む	23,699	23,699	0	0.0	1,226	1,226	0	0.0
ガス ※2	14,196	14,196	0	0.0	846	846	0	0.0
電力	6,698	6,698	0	0.0	262	262	0	0.0
ネットワーク	3,371	3,371	0	0.0	5	5	0	0.0
海外	2,354	2,354	0	0.0	671	671	0	0.0
持分法損益	—	—	—	—	73	73	0	0.0
都市ビジネス								
持分法損益含む ※3	832 (1,108)	832 (1,108)	0	0.0 (0.0)	125 (343)	125 (343)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
不動産販売	214 (490)	214 (490)	0	0.0 (0.0)	89 (307)	89 (307)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
調整額 ※4	▲ 2,716	▲ 2,716	0	—	▲ 347	▲ 347	0	—
セグメント合計額	27,540	27,540	0	0.0	1,680	1,680	0	0.0
持分法損益	—	—	—	—	87	87	0	0.0

(単位: 億円)

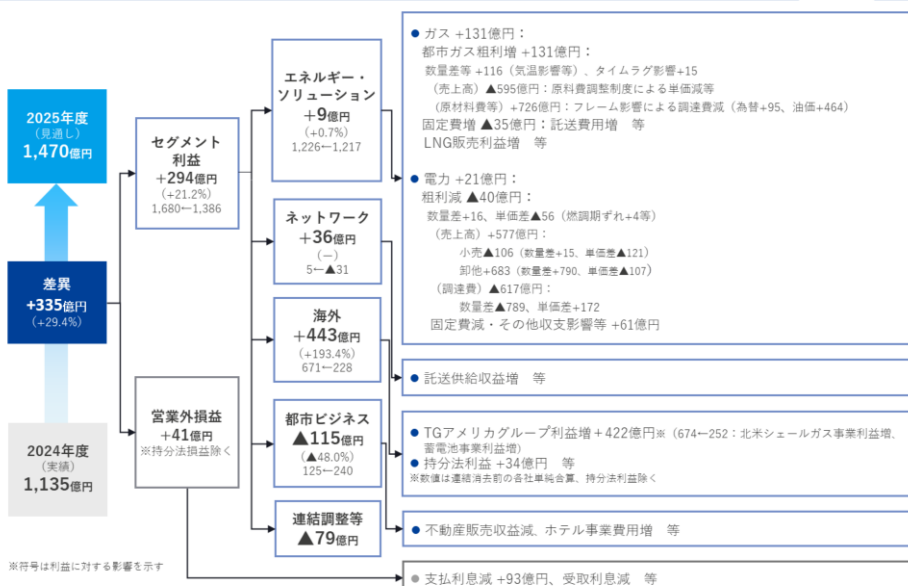
対前年度	売上高 ※5				セグメント利益<営業利益＋持分法損益>			
	見通し	24年度実績	増減	%	見通し	24年度実績	増減	%
エネルギー・ソリューション ※1								
持分法損益含む	23,699	23,404	295	1.3	1,226	1,217	9	0.7
ガス ※2	14,196	16,164	▲ 1,968	▲ 12.2	846	715	131	18.2
電力	6,698	5,881	717	12.0	262	241	21	8.4
ネットワーク	3,371	3,278	93	2.8	5	▲ 31	36	—
海外	2,354	1,812	542	29.9	671	228	443	193.4
持分法損益	—	—	—	—	73	39	34	85.8
都市ビジネス								
持分法損益含む ※3	832 (1,108)	778 (798)	54 (310)	6.9 (38.8)	125 (343)	240 (254)	▲ 115 (99)	▲ 48.0 (34.9)
不動産販売	214 (490)	190 (210)	24 (280)	12.2 (132.7)	89 (307)	114 (128)	▲ 25 (179)	▲ 22.2 (139.0)
調整額 ※4	▲ 2,716	▲ 2,905	189	—	▲ 347	▲ 268	▲ 79	—
セグメント合計額	27,540	26,368	1,172	4.4	1,680	1,386	294	21.2
持分法損益	—	—	—	—	87	95	32	57.3

※1 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」「電力」「エンジニアリングソリューション」等を含む。
 ※2 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」を含む。
 ※3 カッコ内は営業外・特別損益に計上決定の固定資産売却額および損益（不動産）を含めた金額。
 ※4 セグメント利益の「調整額」の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用。
 ※5 セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含む。

2025年度見通し（連結）経常利益分析

対前年度実績

14



Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

業績サマリー

		2025年度見通し	前四（4月公表） 見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
		23,699	23,699	0	—	23,404	295	1.3
売上高	ガス	14,196	14,196	0	—	16,164	▲1,968	▲12.2
	電力	6,698	6,698	0	—	5,981	717	12.0
セグメント利益 （営業利益・持分法損益）		1,226	1,226	0	—	1,217	9	0.7
	ガス	846	846	0	—	715	131	18.2
	電力	262	262	0	—	241	21	8.4
セグメント資産		15,830	15,830	0	—	15,918	▲88	▲0.6
ROA（%）		7.7	7.7	0.0	—	7.7	0.0	—
減価償却費 ※		734	734	0	—	705	29	4.1
設備投資	合計	908	908	0	—	785	123	15.7
	※内、成長投資	571	571	0	—	482	89	18.6
	ガス	373	373	0	—	323	50	15.6
	電力	183	183	0	—	186	▲3	▲1.7
合計（成長投資）		234	234	0	—	287	▲53	▲18.5
設備費（回収含まず）	ガス	—	—	—	—	—	—	—
	電力	100	100	0	—	246	▲146	▲59.1

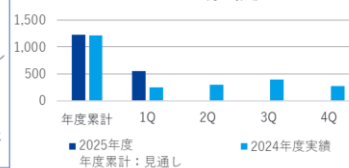
※長期前払費用償却を含む

取り組み方針・重点項目

- 顧客基盤の増強
 - ・ 商材の拡大：多様なソリューション商材の販売
 - ・ 販売方法の拡大：データセンター専門の営業部隊をTGES内に設置、Web販売やデジタルマーケティング等、DXによる料金多様化・適正化（Krakenの導入）
 - ・ 販売エリアの拡大：エネルギーサービス等の全国展開
- デジタルを活用した料金施策や電力・ソリューションの重ね売り、新規販売で顧客当たりの利益を向上
- 当社の保有資産を活用し、LNGトレーディングや電力市場で新たな収益源を獲得。25年7月から、10万kW級の高圧ガスエンジン発電所袖ヶ浦バイパスステーションの運用開始

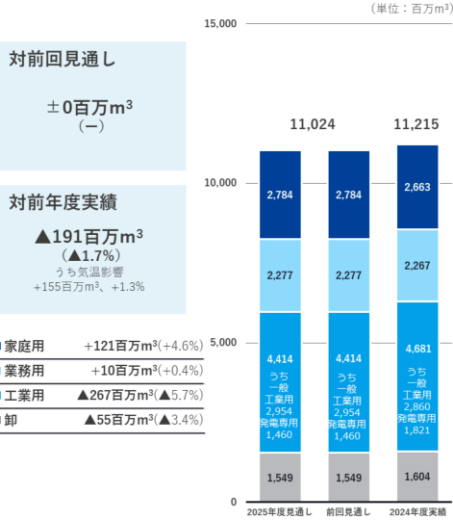
(億円)

セグメント利益推移



Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

都市ガス販売量：年間を通じて、概ね計画通りの順調な進捗を見込む



件数、LNG販売量

	2025年度見通し	前回 (4月公表) 見通し	増減	前年度実績	増減
取付メーター数 (万件) ※	1,268.7	1,268.7	0.0	1,256.4	12.3 (+1.0%)
LNG販売量 (千t)	1,571	1,571	0	1,696	▲125 (▲7.4%)

※ 導管事業者としてのメーター取付数

販売・自家使用量 (百万m³)

	2025年度見通し	前回 (4月公表) 見通し	増減	前年度実績	増減
都市ガス販売量	11,024	11,024	0	11,215	▲191 (▲1.7%)
トーリングによるガス自家使用量	2,677	2,677	0	2,350	327 (+13.9%)
LNG販売量 (m ³ 換算)	1,964	1,964	0	2,121	▲157 (▲7.4%)
合計	15,665	15,665	0	15,686	▲21 (▲0.1%)

※ 各項目は四捨五入して表示

2025年度見通し（連結）電力販売量

17

電力販売量：年間を通じて、概ね計画通りの順調な進捗を見込む



対前回見通し

±0百万kWh
(-)

対前年度実績

+4,142百万kWh
(+17.7%)

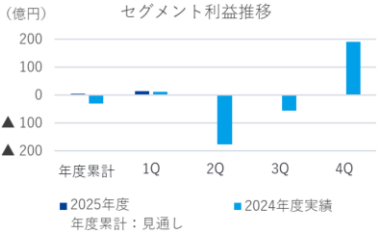
業績サマリー

	2025年度見通し	前回（4月公表） 見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
売上高	3,371	3,371	0	0.0	3,278	93	2.8
セグメント利益 （営業利益+持分法損益）	5	5	0	0.0	▲31	36	—
セグメント資産	6,220	6,220	0	0.0	6,373	▲153	▲2.4
ROA（%）	0.1	0.1	0	—	▲0.5	0.6	—
減価償却費 ※	961	961	0	0.0	984	▲23	▲2.4
設備投資（基盤投資）	808	808	0	0.0	862	▲54	▲6.2

※長期前払費用償却を含む。

取り組み方針・重点項目

- 既存インフラの強靱化（耐震化と経年対策）
- ・ 顧客基盤の拡大
- ・ 保安と安定供給の確保
- ・ ねずみ鋳鉄管対策の完遂（25年度完了想定）、スマートメーター導入の着実な遂行等、事業継続基盤の完成



業績サマリー

(単位: 億円)

	2025年度見通し	前回 (4月公表) 見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
売上高	2,354	2,354	0	0.0	1,812	542	29.9
セグメント利益 (営業利益 + 持分法損益)	671	671	0	0.0	228	443	193.4
セグメント資産	11,240	※1 11,240	0	0.0	11,953	▲ 713	▲ 6.0
ROA (%)	5.8	5.8	0.0	—	1.9	3.9	—
減価償却費 ※2	893	893	0	0.0	845	48	5.6
設備投資 (成長投資)	1,354	1,354	0	0.0	1,306	48	3.7
投融资 (成長投資)	177	177	0	0.0	58	119	202.1

※1 未繰り込みであった現預金高の影響を反映。
※2 長期前払費用償却を含む。

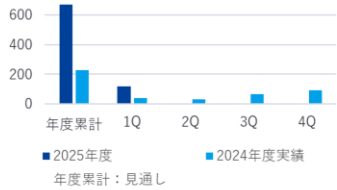
取り組み方針・重点項目

- 北米シェール事業は、生産単価を抑制すべくエリアを集中し、生産量を拡大・維持・上流に精通した現地経営陣により、ローコスト操業を実現
- シェール事業を軸に米国中下流事業や米国産LNGのトレーディングに事業展開・ガスマーケティング&トレーディング事業やガス液化事業、火力発電などの中下流事業へ展開。25年5月からLongbow蓄電池事業の商業運転開始。また、LNGトレーディング事業と連携

北米シェールガス事業における参考データ

確認済増産量 (Tcfe) ※1	4.3		
※1 2024年12月末時点			
	2025年度見通し	前回見通し	前年度実績
生産量 (Bcfe/日)	1.2	1.2	1.2
操業費用 (\$/mcfe) ※2	1.0	1.0	1.0
設備投資 (百万米ドル/年)	870	870	650
※2 操業費用: リース採鉱費、集積・輸送費、生産/分選料、一般管理費			
	2025年度見通し	前回見通し	
想定ヘンリーハブ価格 (\$/MMBtu) ※3	3.2	3.2	
ヘッジ割合 (%)	約80	約80	
価格感応度 (EBIT (百万米ドル) ÷ EBIT/MMBtu) ※4	±5	±6	
※3 1 MMBtu ≒ 1Mcf ※4 見通し作成時点からの感度			

(億円) セグメント利益推移



Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

業績サマリー

(単位: 億円)

		2025年度見通し	前回 (4月公表) 見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
売上高 ※1	合計	832 (1,108)	832 (1,108)	0 (0)	0 (0)	778 (798)	54 (310)	6.9 (38.8)
	不動産販売	214 (490)	214 (490)	0 (0)	0 (0)	190 (210)	24 (280)	12.2 (132.7)
セグメント利益 ※1 (営業利益+持分法損益)	合計	125 (343)	125 (343)	0 (0)	0 (0)	240 (254)	▲115 (89)	▲48.0 (34.9)
	不動産販売	89 (307)	89 (307)	0 (0)	0 (0)	114 (128)	▲25 (179)	▲22.2 (139.0)
セグメント資産		3,510	3,510	0	0.0	3,279	231	7.0
	販売用不動産	520	520	0	0.0	400	120	30.9
ROA (%)		10.1	10.1	0.0	—	7.6	2.5	—
減価償却費 ※2		130	130	0	0.0	115	15	13.3
設備投資 (成長投資) ※3		247	247	0	0.0	258	▲11	▲4.5
投融資 (成長投資)		52	52	0	0.0	76	▲24	▲30.9

※1 カッコ内は営業外・特別損益に計上想定の変動資産売却額および損益（不動産）を含めた金額。
※2 長期前払費用償却を含む。
※3 販売用不動産等（棚卸資産）への投資を含めた2025年度見通しの金額は501億円。

取り組み方針・重点項目

- 都市ビジネスの価値向上サイクルを推進
- ガス事業のための保有不動産を用途転換、地域への価値（環境性・レジリエンス）提供による不動産価値創出。不動産とエネルギーシステムの一体開発・運用によりシナジーを獲得
- 都市ビジネスの利益・資産効率向上
- FCF黒字を前提に、私募REIT等も活用したキャピタルリサイクルと成長投資をバランス

概況

- パークハイアット東京の改修、営業再開は2025年秋を予定
- 2025年度の私募REIT運用資産規模は500億円超（2024年度末376億円）

(億円) セグメント利益推移

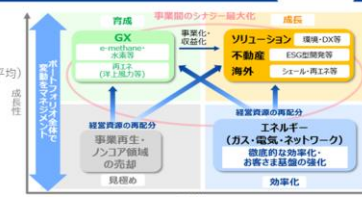


2025年度計画（連結）セグメント別ROA

21

2025年度ROA目標（4%程度）達成に向け、カンパニー・事業会社ごとにROA目標（期末）を設定し、業務管理を実施。

※セグメント別ROA＝セグメント利益（営業利益＋持分法損益）÷セグメント資産（期首・期末平均）



セグメント	23-25中計における事業領域	2025年度見通し（4月公表）		2024年度実績
		ROA	資産額	
エネルギー・ソリューション	エネルギー（ガス・電気等）			
	ソリューション（環境・DX等）	7.7%	15,830億円	7.7%
	GX (e-methane・水素等) (再エネ)			
ネットワーク	エネルギー（ネットワーク）	0.1%	6,220億円	▲0.5%
海外	海外（シェール・再エネ等）	※1 5.8%	※2 11,240億円	1.9%
都市ビジネス	不動産（ESG型開発等）	10.1%	3,510億円	7.6%

※1 セグメント資産見通し額の修正に伴い変更。
※2 未繰り込みであった現預金減の影響を反映。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

2025年度のセグメント別ROAの見通しについて、2024年度実績との比較でお示ししております。

23-25年度中計投資計画 進捗状況

22

		23-25年度 中計目標	2025年度 見通し		2024年度 実績	2023年度 実績
			23-25年度累計	単年度		
投資	成長投資	6,500億円	8,910億円	2,638億円	2,470億円	3,801億円
	内脱炭素関連	2,300億円 (23-25年度累計)	1,341億円	265億円	371億円	703億円
	基盤投資	3,500億円 (23-25年度累計)	3,320億円	1,145億円	1,165億円	1,008億円
	連結調整等	—	▲69億円	▲59億円	▲4億円	▲5億円
	計（回収含まず）	1兆円 (23-25年度累計)	12,160億円	3,724億円	3,630億円	4,804億円
	計（回収分含む）	1兆円 (23-25年度累計)	9,669億円	3,371億円	2,424億円	3,874億円

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

2023から2025年度の中期経営計画における投資計画等の状況をお示ししています。こちらについても、前回4月見通しのままとしております。



経済フレーム感度表に加え、原油価格・為替レート、主な海外投資案件等を掲載しております。

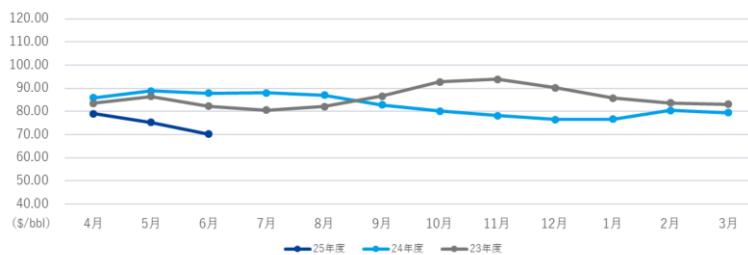
原油価格JCCが\$1/bbl上昇する場合

		収支影響時期			(単位: 億円)
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第2四半期	▲2	▲6	+5	▲3
	第3四半期	—	▲2	▲8	▲10
	第4四半期	—	—	▲1	▲1
	通期	▲2	▲8	▲4	▲14

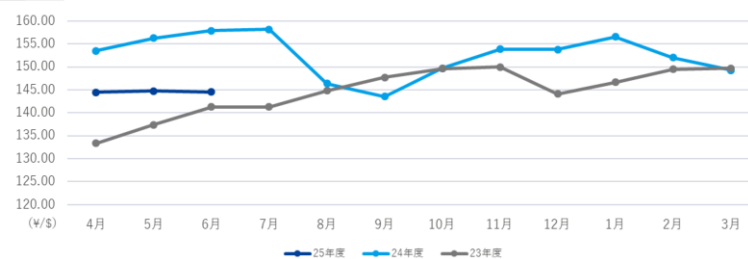
円ドルレートが¥1/\$円安になる場合

		収支影響時期			(単位: 億円)
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第2四半期	▲5	+5	+2	+2
	第3四半期	—	▲7	+7	0
	第4四半期	—	—	▲9	▲9
	通期	▲5	▲2	0	▲7

原油価格 (JCC)



為替レート





地域	番号	国名	案件名称	投資内容	参加年
北米	1	米国	TG・ナチュラリソースズ	シェールガス	2017
			ITG E Sアメリカ	エネルギーサービス	2015
			パースボロ	天然ガス発電	2017
			アクティナ	太陽光発電	2020
			ロングボウ	系統用蓄電池事業	2024
東南アジア	2	メキシコ	アーム・エナジー・ホールディングス	マーケティング・トレーディング事業	2024
			パヒオ	天然ガス発電	2004
	3	マレーシア	ガスマレーシア	ガス配給	1992
			ガスマレーシアエネルギーアドバンス	エネルギーサービス	2014
	4	タイ	ワン・バンコク	地域冷暖・配電事業	2020
			ベトロベトナムガス販売	ガス配給	2017
	5	ベトナム	バンジ・ラヤ・アラミンド	ガス配給	2017
			スーパー・エナジー	ガス配給	2020
	6	インドネシア	クアーストジェンLNG	LNG基地建設、運営、メンテナンス	2020
			ターウィン	天然ガス生産・液化・販売	2003
オセアニア	7	フィリピン	ターウィン	天然ガス生産・液化・販売	2003
欧州	8	オーストラリア	ターウィン	天然ガス生産・液化・販売	2003
	9	デンマーク・フィンランド	トービー・リニューアブルズ	陸上風力発電	2022